

令和8年度島根県立大学人間文化学部  
学校推薦型・総合型選抜社会人・学士帰国生私費外国人留学生特別選抜  
地域文化学科小論文出題意図

I. 出題内容

- 問1 問題文における論の展開を理解し、簡潔にまとめる力を問う。(150字以内)
- 問2 与えられた問いを的確に把握し、論点を絞って論理的に思考・判断し、説得的な議論を展開・記述する力(論理的思考力・表現力)を問う。(800字以内)

II. 出題意図

問題文は、2つの文章で構成している。1つは、英語話者がイタリア語(外国語)で執筆している理由を比喻で説明している文章で、もう1つは自分の先入観を、他者からの情報を補足し、知識を捉え直し、かつ新たなつながりを発見して、修正する内容の文章である。

これら2つの文章では、著者たちの思い込みから脱却する過程を綴っており、どのように新たな視点を獲得していくかが語られている。このような文章を通して、学ぶということはどのようなことなのかを、今後の大学生活まで視野に入れて、考えてほしい。地域文化学科では、空間的にも時間的にも異文化に関して学ぶことが多く、自分の先入観を通してでは、理解することができない。いかに未知の事柄を学ぶのかを考えることは、異文化の理解の最初と考えられる。以上の理由から出題文を選定した。

そして、学ぶことを多角的に考えて、自分たちが行ってきた従来の学びと比較しながら、学ぶということを、論理的に筋道を立てて、説得的に議論して説明してもらうことを狙いとした。

- 問1 まず文章冒頭で、「メタファーの話」と切り出しており、どのようなメタファーで文章全体が構成されているのかが正確に読み取れるかを測るものである。
- 問2 両文章において、他者の視点・知識を通して、自分の知識を拡大していく過程が描かれている。これらの事例から従来の自分の学びを振り返り、学ぶとはどういうことか、また他者を受け入れる姿勢と学びとの関係について、自分の考えを論理的かつ説得的に論じることができるかを測るものである。